

2022年12月26日

各位

興和株式会社

興和 インドのアダニグループとグリーンアンモニア等の 販売に向け協力することで覚書を締結

～今後、SDGs 達成に向けて、再生可能エネルギーを活用したグリーンビジネスを開拓～



(アダニ・グループ会長のゴータム・アダニ氏(左)と興和グループ社長兼最高経営責任者(CEO)三輪 芳弘氏(右)がアーメダバードで「包括業務契約」に調印した)

興和株式会社は、この度、インド新興財閥であるアダニグループの中核企業である Adani Enterprises Ltd.(以下、AEL)ならびに Adani Power Ltd.(以下、APL)、Adani Port & SEZ Ltd.(以下、APSEZ)、Adani Green Energy Ltd.(以下、AGEL)およびその関連会社と包括業務契約を締結いたしました。2016年にAELと締結した内容を下に、新たにカーボンニュートラル関連業務を協力して推進することに合意しました。主に、インドで生産される再生可能エネルギーから作られる、グリーンアンモニアおよび肥料、メタノールといった派生商品を取り扱う目的で、

シンガポールに合弁会社を設立し、日本や台湾を中心に将来的にはアジア市場を視野に入れた販売活動を行う覚書を取り交わしました。2028年を目途にフェーズ1として年間100万トンのグリーンアンモニアの販売を目指し、さらに増やす予定です。他には、アンモニア混焼に関する検討の促進、次世代燃料やリチウムバッテリーを搭載した電気推進タグボートの建造、次世代型太陽光モジュールの生産に向けた協力など多岐にわたります。

アダニグループは世界最大規模の太陽光発電事業者になることを目指し、今後10年間に700億米ドルの投資を表明し、グリーン水素、アンモニアのバリューチェーン構築を目指しています。また2027年までにリニューアブルエナジー会社として世界のフロントランナーになることを目標にしています。

興和は、健康と環境をテーマに脱炭素社会に貢献する取り組みを国内外で展開しています。今回、アダニグループとの業務提携を機に脱カーボン社会に向けたビジネスソリューションとして、今後のカーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。

以上